



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 中部日本放送株式会社 上場取引所 名
 コード番号 9402 URL https://hicbc.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉浦 正樹
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高城 浩史 (TEL) 052-259-1322
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	20,267	△18.6	△93	—	316	△79.3	△67	—
2020年3月期第3四半期	24,889	△1.8	1,150	△36.8	1,528	△30.0	1,079	△21.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 887百万円(△1.1%) 2020年3月期第3四半期 897百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△2.58	—
2020年3月期第3四半期	40.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	70,290	55,762	77.5
2020年3月期	71,434	55,515	75.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 54,449百万円 2020年3月期 54,172百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	5.00	—	17.00	22.00
2021年3月期	—	5.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期末配当金の内訳: 普通配当 10円00銭 特別配当 5円00銭 記念配当 2円00銭

2021年3月期末配当金の内訳: 普通配当 5円00銭 特別配当 5円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,800	△16.0	170	△89.3	590	△70.5	470	△81.1	17.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	26,400,000株	2020年3月期	26,400,000株
2021年3月期3Q	1,530株	2020年3月期	1,525株
2021年3月期3Q	26,398,474株	2020年3月期3Q	26,398,565株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9
(重要な後発事象)	P. 10
3. 参考資料	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益又は 営業損失(△) (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△) (百万円)
当第3四半期 連結累計期間	20,267	△93	316	△67
前第3四半期 連結累計期間	24,889	1,150	1,528	1,079
増減率(%)	△18.6	—	△79.3	—

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により非常に厳しい状況となりました。個人消費の持ち直しがみられるものの、企業収益は大幅な減少が続いています。また先行きにつきましては、感染拡大の防止策を講じる中で、持ち直しの動きが続くことが期待されますが、期間終盤においては再び感染が拡大していることもあり、見通しが立たない状況が続いています。当社グループに影響を与える広告市況につきましても、昨年秋以降に回復傾向を見せたものの、全体としては厳しいものとなりました。

このような事業環境の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、202億67百万円（前年同期比18.6%減）と大幅に減少しました。

利益面では、売上高の大幅な減少により営業損失は93百万円（前年同期は営業利益11億50百万円）となりました。営業外損益を加味した経常利益は3億16百万円（前年同期比79.3%減）となりました。また、特別損失において投資有価証券評価損を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は67百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益10億79百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

	放送関連		不動産関連		その他	
	売上高 (百万円)	営業利益又は 営業損失(△) (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益又は 営業損失(△) (百万円)
当第3四半期 連結累計期間	18,073	△860	1,313	798	880	△31
前第3四半期 連結累計期間	22,364	246	1,322	788	1,203	115
増減率(%)	△19.2	—	△0.7	1.3	△26.8	—

(注) 売上高については、セグメント間の取引を相殺消去しております。

〈放送関連〉

「放送関連」は、新型コロナウイルス感染症の影響による広告市況の急激な悪化などにより、当社グループの売上を中心とするテレビスポット収入やテレビタイム収入が大幅に減少したほか、主催イベントの中止・延期によりイベント収入も大幅に減少したことから、売上高は180億73百万円（前年同期比19.2%減）となりました。

利益面では、主にテレビスポット収入の減少が影響し、8億60百万円の営業損失（前年同期は2億46百万円の営業利益）となりました。

〈不動産関連〉

「不動産関連」は、堅調に推移し、売上高は13億13百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

利益面では、前期は賃貸物件の大規模修繕を実施しましたが、当期はなかったことから、営業利益は7億98百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

〈その他〉

ゴルフ場事業、保険代理業、タクシー業などで構成される「その他」は、新型コロナウイルス感染症の影響でゴルフ場の来場者やタクシー利用者が減少したことや、物販店を閉鎖したことなどにより、売上高が8億80百万円（前年同期比26.8%減）、営業損失は31百万円（前年同期は1億15百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて11億43百万円減少し、702億90百万円となりました。主な減少要因として、法人税等の納付や配当金の支払いなどにより現金及び預金が14億61百万円、受取手形及び売掛金が5億4百万円それぞれ減少しております。また、主な増加要因として、信託受益権の購入により流動資産の「その他」が6億65百万円、保有株式の時価上昇が出資の償還額を上回ったことにより投資有価証券が2億29百万円、それぞれ増加しております。

②負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて13億90百万円減少し、145億28百万円となりました。主な減少要因として、未払費用が12億65百万円、流動負債の「その他」が4億52百万円、それぞれ減少しております。また、主な増加要因として、流動負債の引当金が2億88百万円増加しております。

③純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて2億46百万円増加し、557億62百万円となりました。増加要因として、保有株式の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が6億31百万円、退職給付に係る調整累計額が2億94百万円それぞれ増加しております。また減少要因として、親会社株主に帰属する四半期純損失と配当金の支払いにより利益剰余金が6億48百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、売上高全体としてはほぼ前回予想における想定通りの水準で推移しておりますが、その内訳においてテレビスポット収入など相対的に利益率の高い収入が想定を上回っており、また費用についても圧縮されたことから、利益面では想定を上回る水準で推移しております。さらに、特別利益として固定資産売却益を計上する見込みとなったことから、2020年11月10日に公表いたしました2021年3月期の通期連結業績予想を下記の通り修正いたします。

2021年3月期の通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位：百万円、%)

	前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率	前期実績
売上高	27,800	27,800	—	—	33,094
営業利益	0	170	170	—	1,582
経常利益	420	590	170	40.5	2,003
親会社株主に帰属する当期純利益	50	470	420	840.0	2,483

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,178	13,717
受取手形及び売掛金	7,076	6,572
有価証券	200	100
たな卸資産	56	82
その他	2,951	3,616
貸倒引当金	—	△0
流動資産合計	25,463	24,087
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,276	28,996
減価償却累計額	△18,932	△19,134
建物及び構築物（純額）	10,344	9,862
機械装置及び運搬具	19,564	18,027
減価償却累計額	△15,914	△14,647
機械装置及び運搬具（純額）	3,649	3,379
土地	13,317	13,315
建設仮勘定	14	1,095
その他	1,575	1,528
減価償却累計額	△1,274	△1,259
その他（純額）	301	269
有形固定資産合計	27,627	27,921
無形固定資産	632	500
投資その他の資産		
投資有価証券	14,970	15,199
繰延税金資産	2,300	2,161
その他	572	552
貸倒引当金	△132	△132
投資その他の資産合計	17,711	17,780
固定資産合計	45,971	46,203
資産合計	71,434	70,290

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	208	143
未払費用	2,802	1,537
未払法人税等	293	22
引当金	151	440
その他	2,553	2,100
流動負債合計	6,009	4,244
固定負債		
引当金	48	41
退職給付に係る負債	3,991	4,145
資産除去債務	76	78
繰延税金負債	1,578	1,844
長期預り保証金	4,176	4,142
その他	37	31
固定負債合計	9,909	10,283
負債合計	15,918	14,528
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	654	654
利益剰余金	52,114	51,466
自己株式	△1	△1
株主資本合計	54,087	53,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,000	3,631
退職給付に係る調整累計額	△2,915	△2,621
その他の包括利益累計額合計	84	1,009
非支配株主持分	1,343	1,313
純資産合計	55,515	55,762
負債純資産合計	71,434	70,290

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	24,889	20,267
売上原価	14,345	11,821
売上総利益	10,544	8,445
販売費及び一般管理費	9,393	8,539
営業利益又は営業損失(△)	1,150	△93
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	344	332
その他	44	94
営業外収益合計	395	434
営業外費用		
減価償却費	—	15
支払利息	13	6
貸倒引当金繰入額	—	0
その他	4	1
営業外費用合計	17	23
経常利益	1,528	316
特別利益		
投資有価証券売却益	210	—
固定資産売却益	—	84
特別利益合計	210	84
特別損失		
イベント中止損失	—	16
固定資産除却損	4	—
投資有価証券評価損	—	203
特別損失合計	4	219
税金等調整前四半期純利益	1,734	181
法人税等	627	219
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,106	△37
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	30
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,079	△67

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,106	△37
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△477	631
退職給付に係る調整額	268	294
その他の包括利益合計	△209	925
四半期包括利益	897	887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	870	857
非支配株主に係る四半期包括利益	27	30

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	放送関連	不動産 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,364	1,322	23,686	1,203	24,889	—	24,889
セグメント間の内部 売上高又は振替高	103	115	219	582	801	△801	—
計	22,467	1,438	23,905	1,785	25,691	△801	24,889
セグメント利益	246	788	1,035	115	1,150	0	1,150

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ場事業、保険代理業、OA機器販売、旅客運送業(タクシー)等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額です。

3 セグメント利益1,150百万円は、四半期連結損益計算書の営業利益1,150百万円と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	放送関連	不動産 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,073	1,313	19,386	880	20,267	—	20,267
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	115	142	504	646	△646	—
計	18,099	1,429	19,529	1,384	20,914	△646	20,267
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△860	798	△62	△31	△93	0	△93

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ場事業、保険代理業、OA機器販売、旅客運送業(タクシー)等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額です。

3 セグメント損失△93百万円は、四半期連結損益計算書の営業損失△93百万円と調整を行っています。

(重要な後発事象)

(固定資産の譲渡)

当社は、2021年1月26日、以下の固定資産を譲渡することを決定し、2021年2月5日に売買契約を締結いたしました。不動産ポートフォリオの再構築を進める中で、当社の保有する土地の一部を売却するものであります。

1. 譲渡資産の内容

所在地	愛知県名古屋市
資産の内容	土地 14,505.98㎡
現況	遊休資産

2. 譲渡先の概要

譲渡先は国内事業法人ですが、譲渡先との取り決めにより開示を控えさせていただきます。なお、当社と譲渡先との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。また、譲渡先又はその関係者は当社の関連当事者には該当いたしません。

3. 譲渡の日程

譲渡決定日	2021年1月26日
契約締結日	2021年2月5日
物件引渡日	2021年3月31日(予定)

4. 損益に与える影響額

当該固定資産の譲渡に伴い、2021年3月期の期末連結決算において、約533百万円の固定資産売却益を特別利益として計上する予定であります。

3. 参考資料

(株)CBCテレビ 売上高の内訳

(単位：百万円、%)

	前第3四半期 (2020年3月期 第3四半期)	当第3四半期 (2021年3月期 第3四半期)	増減	
	金額	金額	金額	増減率
テレビ収入	16,914	14,463	△2,450	△14.5
タイム収入	5,247	4,642	△604	△11.5
スポット収入	10,983	8,986	△1,996	△18.2
その他収入	682	834	151	22.1
クロスメディア収入	519	410	△109	△21.0
イベント収入	1,010	26	△984	△97.4
ハウジング収入	654	576	△78	△11.9
グループ請負収入	140	119	△21	△15.2
合計	19,239	15,596	△3,643	△18.9

(株)CBCラジオ 売上高の内訳

(単位：百万円、%)

	前第3四半期 (2020年3月期 第3四半期)	当第3四半期 (2021年3月期 第3四半期)	増減	
	金額	金額	金額	増減率
ラジオ事業収入	1,882	1,469	△413	△22.0
タイム収入	1,111	867	△243	△21.9
スポット収入	760	589	△170	△22.4
その他収入	11	11	0	1.8
受託事業収入	275	275	△0	△0.1
合計	2,158	1,744	△413	△19.2